

2015年4月実績概要（メモ）

（2015. 5. 21）

1. 生産動向

イ) エチレン 573,000トン

前月比 ▲ 2.7% (▲ 15,800トン)
前年同月比 + 13.9% (+ 69,900トン)

生産増減に係る諸要因	<前月比>	<前年同月比>
日数増減	▲ 3.2%	-
定修要因等	▲ 3.6%	+ 14.8%
能力増減	-	▲ 5.4%
稼働率変動	+ 4.1%	+ 4.5%
生産増減率	▲ 2.7%	+ 13.9%

稼働プラントの実質稼働率試算：前月90.9%→当月94.7%←前年同月91.3%
定修プラント：前月なし→当月1社1プラント←前年同月3社3プラント

ロ) 主な石油化学製品

前月比では、主に日数の減少と定修規模差からHD、PP、SM、塩ビ樹脂、EO、EG、ベンゼンなどの11品目でマイナス。LD、PS、AN、SBRなどの6品目はプラスとなった。

前年比では、定修規模差や稼働率要因等からHD、PS、SM、塩ビ樹脂、塩ビモノマー、EO、EG、トルエン、キシレンなどの11品目がプラス。LD、PP、SBR、ベンゼンなどの6品目はマイナスとなった。

2. 樹脂の生産・出荷状況（LD、HD、PP、PS）

イ) 生産

前月比では、日数は減少したが、定修規模が縮小したLDはプラス、PSは稼働率要因からプラスとなった。HD、PPは主に定修規模差からマイナスとなった。

前年比では、定修規模差や稼働率要因からHD、PSは大幅なプラスとなった。一方、LDは主に稼働率要因、PPは定修規模差等からマイナスとなった。

ロ) 国内出荷

前月比では、連休入りに伴う営業日数の減少もありHD、PPでマイナスとなった。PSは低調な出荷が暫く続いていたが、当月は大幅な増加となった。

前年比では、LD、HDでは輸入品の減少傾向もあり、主用途のフィルム分野の出荷が前年を上回りプラスとなった。また、PPでは主に射出成形分野、PSでは包装分野他の出荷が増加しプラスとなった。

ハ) 輸出

前月の輸出が比較的多かったLD、HD、PPでは前月比でマイナスとなった。前年比では為替等の交易条件が改善していることもあり4樹脂揃ってプラスとなった。

ニ) 在庫

在庫量は、HD、PP、PSの3樹脂で減少し、LDは微増となった。在庫率(季節調整済)ではLDは上昇、HDは横ばい、PP、PSは低下した。在庫水準としてはLD、HDでやや高め、PP、PSではほぼ適正となっている。

	前月対比増減量 (単位:トン)	季節調整済在庫率 (単位:ヶ月)	
		3月末	4月末
LD	+ 500	3.4	3.5
HD	▲ 3,400	2.8	2.8
PP	▲ 15,800	3.0	2.6
PS	▲ 2,700	1.8	1.2

以上